

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	校長名	山崎 久美子
------	---	-----	------------	-----	--------

1 目指す学校像

- ・幼児児童生徒が 『学びがいのある学校』
- ・保護者・保証人が 『通わせがいのある学校』
- ・職員が 『働きがいのある学校』
- ・外部の関係機関が 『頼りがいのある学校』
- ・地域が 『応援しがいのある学校』

(1) 教育目標 『自立する人を育てる』

- 自立する人とは**
- ・《知》豊かな感性と考えをもつ人
 - ・《心》他者と自分を愛する人
 - ・《体》健康な体を保つ人
 - ・逞しく自らの未来を切り拓く人
 - ・必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

(2) 目標具現化の柱

- ア 授業力の向上と視覚障害教育を中心とした専門性の維持・向上
- イ 心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実
- ウ 地域の特別支援教育のセンター的役割の遂行
- エ 防災・防犯教育の重視と安全で魅力的な環境づくり
- オ 業務への手ごたえとワークライフバランスの維持

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） * 「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	授業力の向上と視覚障害教育を中心とした専門性の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価を踏まえた学習活動の展開 ・「主体的・対話的で深い学び」のためのG研修と一人1授業公開 ・必要な専門性について考え、研修する機会の設定 ・視覚障害スポーツについて学ぶ機会の設定 ・ICT機器の効果的な利用 ・情報保障の重要性について考え、実践する機会の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別の良さを生かした授業ができた教員 100% ・G研修と授業公開が授業改善や授業力向上につながった教員 90% ・自身の専門性の向上が実感できる職員 100% ・視覚障害スポーツについての経験や知識が広がった職員 90% ・児童生徒がICT機器を効果的に利用できるように工夫した教員 80% ・情報保障の大切さが分かり、実践できた職員 80% 	各学部、教務 研修 研修 自立活動 体育保健 各学部 教務情報図書 各学部 自立活動
イ	心身の健康の保持・増進とキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や発達に応じた生活習慣の育成 ・栄養教諭と連携した各教科等での食育の工夫 ・努力の成果と次へのステップが分かる体力づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることが増えたり生活を整えることができたりした生徒等 100% ・食育の内容や視点を取り入れた授業をした職員 60% ・食の目標が達成できた生徒等 90% ・体力が向上した生徒等 90% ・それぞれの個性や良さについ 	各学部 体育保健 体育保健 各学部 体育保健

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・違いや個性を認め、互いに尊重しあえる関係作りへの支援 ・役割を遂行し、達成感を味わう機会の設定 ・自己の特性と必要な支援について考え、伝える機会の設定 ・自分の夢や進路について考え、語る機会の設定 ・生徒等の将来について保護者と共に考える機会の設定 	<p>て考える機会を設定した学級 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を果たし、達成感を味わえた生徒等 100% ・自分自身や必要な支援について、考えたり伝えたりできた生徒等 80% ・夢や進路について、考えたり語ったりした生徒等 80% ・我が子の将来について学校と共に考える機会をもてた保護者 70% 	<p>各学部 生徒指導</p> <p>各学部</p> <p>各学部</p> <p>進路指導 各学部 進路指導 各学部</p>
ウ	地域の特別支援教育のセンター的役割の遂行	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターを重点とした連携推進と教育相談の実施 ・センター的機能周知のための効果的なPR活動 ・理解を広げるための効果的なメディアの利用 ・コミュニティ・スクール推進のための地域との協働活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター等への理解推進・教育相談活動7回以上 ・東部地区市町関係機関へのPR等 60か所以上 ・ホームページやfacebookの更新一人1回以上。 ・第五地区センター、商工会議所でのマッサージ奉仕各1回以上 ・地域との玄関前花壇の整備 	<p>支援部</p> <p>支援部 進路指導 教務情報図書 管理職 高等部</p> <p>小・中学部</p>
エ	防災・防犯教育の重視と安全で魅力的な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルや防災計画の重要事項の共通理解 ・地域との防災協力の推進 ・場所や時間、状況設定を工夫した実践的な防災訓練と事後の振り返りの重視 ・視覚障害に対応した安全な学校環境の整備 ・活動意欲を高める安全で魅力的な環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に自分で判断して動ける職員 90% ・地域との共通理解の機会2回以上 ・様々な場合に自分の身の守り方が分かる幼児児童生徒 80% ・学校環境の不備を原因とした事故の発生 0 ・校内に魅力的な場所がある幼児児童生徒 90% 	<p>体育保健 生徒指導 生徒指導 管理職 生徒指導</p> <p>事務</p> <p>体育保健 各学部</p>
オ	業務への手ごたえとワークライフバランスの維持	<ul style="list-style-type: none"> ・学部やグループまたは保護者との、幼児児童生徒の成長を認め合う機会の設定 ・教材研究の日の確保とその活用方法の工夫 ・定時退勤日の設定と呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の成長の様子を具体的に説明できる職員 100% ・教材研究の日が有効だと答える職員 90% ・定時退勤日を意識して業務調整ができる職員 90% 	<p>学部 教務情報図書</p> <p>教務情報図書 管理職</p>